



学校だより

令和 8 (2026) 年 3 月 発行

「志を高く持ち、易きに流れない」

校長 柳本高秀



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の学びを終えられる皆さんへ、一言、はなむけの言葉を書かせていただきます。

「志を高く持ち、易きに流れない」は、本校の進路指導理念です。明日からは、高等学校から次のステップへ移るわけですが、今一度、この理念の意味をかみしめて欲しいのです。

志を辞書で引いたところ、「ある方向を目指す心」「相手を思う気持ち」などの意味を持っており、特に、ある方向を目指す心は、卒業という節目においても、これからの人生を設計する上でとても大切な心となります。

また、易きを辞書で引いたところ、形容詞「易い（やすい）」を名詞化した言葉で、「たやすいこと」「簡単なこと」「楽なこと（場所）」という意味となっていました。「水は低きに流れ、人は易きに流れる」という孟子（中国儒学思想家）の格言があり、水が自然と低い方へ流れるように、人は放っておくとつい楽な方、安易な方を選んでしまうという人間の性質を、自戒や警告を込めて表すこの格言は、私にとっても、日々の暮らしを常に問い直す言葉となっています。

本校のキャリア教育（進路指導）の大きな目標は、“自己理解を深め、主体的に考え、自らの力で進路を切り拓く能力の育成”です。自己理解とは、自己の状況を常に測定・分析し、課題の改善に生かしていくことを意味しています。メタ認知も似たような使われ方をしますが、自己の内面を的確に推し量っていくことは、本当に難しいことだと私も日々痛感しています。でもそんな時、客観的な尺度を与え、支えてくれるのが、他者の存在ではないでしょうか。

さあ、新しい生活が始まります。皆さんのこれからの、『志を高く持ち、易きに流れない』ものとなるよう、こころから願っています。

PTA会長挨拶 佐藤 公一郎



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。PTAを代表して、心からお祝い申し上げます。また、卒業生を今日まで温かく見守り、支えてこられたご家族の皆さま、そして教職員の皆さまに、深く感謝申し上げます。

卒業を迎えるにあたり、皆さんは明日から名実ともに一人の成人として社会に出ていくこととなります。現時点で進路が決まっている人、まだ決まっていない人、また、希望通りの道に進める人、そうでない人もいるでしょう。ただ、今一つだけ言えることは皆さんの人生のゴールはまだ誰にも見えていないということです。

皆さんが生まれた頃、2007年の日本では100歳以上の人口は約3万3千人。それが今年には約3倍の10万人を超えることが確実です。さらに皆さんが100歳近くになる2100年には50万人とも見込まれています。平均寿命が94歳以上となる推計もあるようです。

そうだとすると、人生はとてとても気が遠くなるくらい長いマラソンで、ゴールどころかコースがどこなのか、それが正しいのか、途中で別のコースを選びなおしたり、止まって休んだり、自分で新しいコースを作ったり…そんなことが当たり前になっているでしょう。

大事なことは、皆さんが楽しく、じっくり、好奇心を持って進める道こそがそれぞれの行きたいゴールに繋がっている道だということです。違うと思ったら引き返したり、方向転換したりする時間はいくらでもあります。湖陵で学んだ知識、知恵、人とのつながりを最大限に生かして、皆さんが自分なりのコースでゴールテープを切ることを楽しみにしつつ、本校同窓生として釧路、北海道、日本、世界の各地で大いに活躍することを心から期待しています。

卒業おめでとう！

新生徒会長挨拶 東海林 昊聖



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在学中、先輩方は様々な場面で模範を示し、学校全体を明るく導いてくださいました。その姿勢は、今も在校生一人ひとりの心に強く残っています。これから社会や新しい環境へと進まれる中でも、この釧路湖陵高等学校ではぐくんだ絆と努力を胸に、力強く歩まれることを全校生徒一同願っています。どうかお体に気を付け、充実した日々をお過ごしください。

さて、今年度の生徒会活動を振り返ると、湖陵祭や体育祭をはじめとする数多くの行事を通して、大きな成長と同時に、様々な課題の発見につながった一年であったと実感しています。私たちは生徒会役員として、行事全体の進行管理や各クラスとの調整など、多くの役割を担ってきました。生徒会室は常に質問や依頼であふれ、状況に応じた臨機応変な対応が求められる場でもありました。時には、連絡の遅れや自分の業務に没頭してしまったことで混乱を招いてしまうこともありました。しかし、そのような経験を重ねたからこそ、仲間と協力しながら優先順位を整理し、全体を俯瞰して行動する力を身につけることができたと感じています。本番を迎え、多くの生徒が笑顔で行事を楽しむ姿を目にしたとき、大変さの先にある大きな達成感を得ることができました。

この一年、生徒会は多くの行事を通して仲間と協力しながら成長してきました。生徒の皆さんの笑顔やご協力は、私たち生徒会にとって何よりの支えでした。また、卒業生の皆さんが築いてこられた伝統と温かい雰囲気、現在の生徒会活動の確かな土台となっています。心より感謝申し上げます。卒業生の皆さんの新たな道でのご活躍をお祈りしています。